

1面掲載

ベトナムに実習生育成校

関東甲信越保温保冷協

年末にも選抜15名来日へ

関東甲信越保温保冷工業協会の保温ベトナム実習協議会は8月10日、ベトナムはハノイにて「ベトナムハノイ保温学校」を開校した。

同校は、関東甲信越保温保冷工業協会が、日増しに強くなる人手不足に対し政府の海外実習制度を活用した「ベトナム人実習生導入計画」を立て、人手不足問題解決行動を推進するために開校したもの。同様のスキームによるベトナム人実習生の教育と日本での実習で実績を持つ向井建設がハノイに保有する学校の



保温学校の生徒＝手前の列

一部を借用し、教育を始めた。予定では、その後同協会会員が、政府の海外実習生制度に則り研修生を受け入れる。受け入れ期間は3年から5年。

学校での主な教育内容は①日本語教育と一通りの安全技术研修・日本での現場のやり方・礼儀を厳しく教える(3ヵ月間)、②保温工事教師を日本から1名派遣し保温研修を実施、③研修時間は9時から18時まで、④生徒は全て併設寄宿舎に合宿(不適格者は退学)、⑤3ヵ月間で一通りの現場での

日本語言葉使い、マナー、安全KY、テコとしての技術等が出来るようにするのが目標であり、日本での生活習慣、警察の厳しさや、電車の乗り方についても厳しく教える(同協会では、これをするとしていないでは「生徒の質が全く違う」来日後

の素行、仕事ぶりが違う「逃し者が無い」などの差になって現れるという。第一陣は今年の年末となる見込み。65名の候補者の中から評価上位15名を選抜し、同協会会員4社が3〜5名を受け入れる計画。